

●とびつくす●

〇〇年ぶりのウィンタースポーツ

美馬地域会 上柿 航輝

2月11日～12日の2日間、兵庫県にあるハチ北高原スキー場へ1泊2日のスキーツアーに参加してきました。

私が最後にスキー場に行ったのは高校の北海道への修学旅行ということで実に14年ぶりでした。

「果たして滑れるのか??」という大きな不安がありました。当初はスキーをする予定でしたが、一緒に参加した美馬地域会の細川さんから「近藤さんがスノボの板を貸してくれるみたいだけどスノボしてみる?」と連絡があり、私自身スノボをまったくしたことがなく、未経験でしたが、やってみたかったこともありスノボをすることにしました。当日は早朝5時前に松茂にあるとくとくターミナルを出発。トイレ休憩を何度か挟みつつ約4時間位で到着。天気も良くあまり寒くもありませんでした。三連休の中日ということもあり駐車場は既に満車状態。宿泊するゲレンデ内にあるホテルに荷物を置き、レンタルウェアに着替えいざゲレンデへ!

まったくしたこともないのでまずは立ち上がる練習から。これがなかなか上手くできずいきなり大苦戦しました(笑)。サポートをしてもらいながら、何とか立ち上がり次は傾斜の緩やかな場所で滑り方のレクチャーを受けるもうまくいかず…。こうすればいいよ。と教えてくれますが、頭の中ではこうすればいい!と理解はできて

も、いざ実際に滑ろうとすると恐怖心もありどうしても思うように滑れません。それに加えて普段運動をほとんどしない(笑)ので午前中の数時間でヘトヘトになってしまいました。

昼食を取りお腹も満たせたので、午後はリフトで少し上まで登ってみることに。

しかし、初心者向け用のコースとはいえ、まだまだまともに滑ることは当然できないので、再び、傾斜の緩やかなところでアドバイスを受けながら基本の滑り方の練習をすることに。

最初に比べたらまだマシかな?という程度にはできるようになったと思います。

近くの休憩所で椅子に座ると建物内のあたたかさ、朝が早かったせいもあり少しだけ休憩をするつもりが長めに休憩を取ってしまいました。

初心者コースを滑ってみようと決心しいざボードを履こうとするもなぜかスムーズに履けず。ブーツに雪がついているのか?とブーツをよく見るとなんとレンタルブーツの靴底がべろんと剥がれていました。(笑)

結局コースは滑らずにリフトで降りてレンタルスペースでブーツの交換をしてもらい、午前中に練習していた場所で集合時間まで自主練しました。

その後はホテルの食堂で食事タイム。「香住鶴」という地酒を頂きました。飲みやすいお酒でおいしかったです。

2日目は前日普段使わない運動をしたので筋肉痛がひどくとても滑れる状態ではありませんでした(笑)

皆さんを送り出して帰る準備をしてお昼ごろにスキー場をあとにしました。途中温泉に入り体を温め温泉に併設しているラーメン屋さんで昼食を取り道の駅でお土産タイム。山椒が有名らしく山椒ソフトクリームとやらを食べてみましたが、意外と美味しかったです。

もし来年もあるのであれば次はしっかり滑ることができるよう頑張りたいと思います(笑)



●建築士の社会的活動助成事業●

「お菓子の家を作ろう！」in 徳島科学技術高校

建築士会お菓子の家を作ろう 蓑田 仁美

令和6年2月3日(土)、徳島県立徳島科学技術高等学校で、「お菓子の家を作ろう！」を開催しました。

2014年から毎年行っている徳島科学技術高校での開催は、建設技術類1年生のうち、2年生から建築コースへ進む生徒さんを対象にしたイベントで、今年で11年目を迎えました。元日の能登半島地震の発生からわずか1ヶ月後の開催ということもあり、テーマである「地震に強い家」を考える生徒さんの表情は、例年にも増して真剣なものでした。しかし、いざ、お菓子の家を作り始めると、この体験を全力で楽しんでいるといった雰囲気は一転し、かつ、「自分だけの家を作ってやるぞ」という意気込みを感じました。

また、今回、コロナ対策のためにしばらく休止していた、完成したお菓子の家を並べて街を作る「ニュータウン方式」での完成見学会を久しぶりに行いました。高校生を対象にしたイベントでは、この「ニュータウン方式」の完成見学会で、自分の家の特徴を紹介したり、友達の家を見たりする時間を設けています。今回、同じ家が二つとないほど、オリジナリティあふれた家が並ぶニュータウンができました。

以下に、開催後、参加した生徒さんが送ってくれた感想文を紹介します。

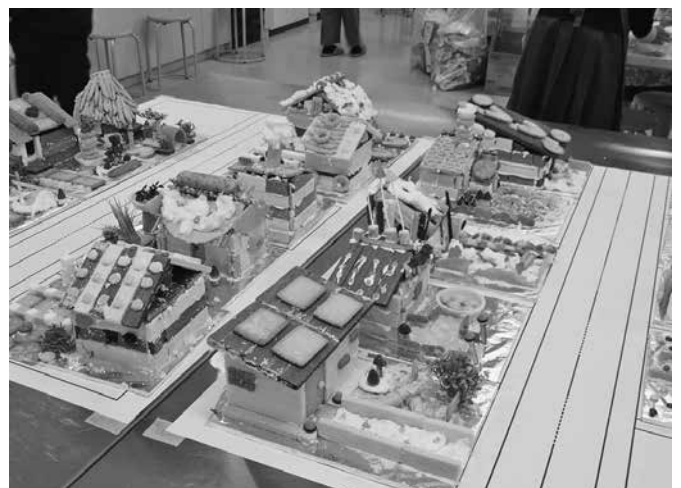
先日行われたお菓子の家を作る体験はとても楽しかったです。初めての試みでしたが、同じ班のメンバーとともにアイデアを出し合いながら、いつもの実習とは違った発見ができました。建築模型を作るのとはまた違い、お菓子はとてもデリケートなので、丁寧に作業することを今回の体験で気付かされました。

また、建築士会の方々には本当にお世話になりました。たくさんのお菓子を用意してくれたり、私たちの疑問や質問に丁寧に答えてくださり、建築士ならではの、角度からのアドバイスをしていただきました。また、今回は「地震に強い家」というテーマで、耐震性なども教えてくださいました。この場をお借りして、ご指導してくださいました建築士会の方々に感謝の気持ちを伝えたいと

思います。お忙しい中、貴重な時間を割いていただき、私たちに指導をしてくださり、本当にありがとうございました。今回の体験を通して、私たちの将来への可能性を広げていきたいと思います。

青山 覚吏

2月3日にお菓子の家づくりを開催していただきありがとうございます。たくさんのお菓子上で家を作るだけでなく、家が建てられる流れや屋根の形など建築に必要なことを教えていただき、とても勉強になりました。実際にお菓子上で家を作ってみると、ポッキーなどで作った柱が長すぎたり短すぎて合わなかったり、途中でバランスが崩れて倒壊しかけたりと難しいところがたくさんありました。他のところでも同じようなことが多々あったの



で、バランスを保ってきれいな仕上がりにはすることは容易ではないと実感しました。建築士会の方が丁寧に教えてくださり、何とかバランスよく、きれいな家になりました。また友だちが作った家は、壁や屋根が僕と違ってお菓子の表現していたので、すごいなと思いました。今度お菓子の家を作るときには、今回学んだことを活かして、壁や屋根を工夫したいと思います。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

阿部 悠仁

今回のお菓子の家づくりのイベントにたくさんのお菓子を準備していただきありがとうございました。家のテーマを考えて、形にすることはとても難しかったです。僕は最初、柱を小枝のお菓子の家で作っていましたが、細すぎて柱が折れてしまいました。柱をマシュマロに変えてみるとすごく安定して、最後まで作ることができました。柱は頑丈じゃないと折れるということがわかり、とても良い勉強になりました。また自分が食べたいものだけで家を作ったので美味しくいただくことができました。みんながそれぞれ変わったお菓子の家を作っていて、すごく楽しかったです。学校で行う実習とは違い、お菓子はとても壊れやすく、困っていたときに建築士会の方には「家を頑丈にするために骨組を強くした方がいい」など、的確なアドバイスをいただき、本当に助かりました。このイベントをとおして学んだことを活かし、将来につなげていきたいです。

友成 駿斗

今回は、お菓子の家づくりという機会を用意していただきありがとうございました。始めは作る実感がなかったけど、部屋に入りたくさんのお菓子が並んでいるのを見てとてもワクワクしました。今回のテーマであった「地震に強い家」についてスクリーンで教えていただいたことで、どんな家を設計し作ればよいかを具体的に想像することが出来ました。お菓子の家を作る際に、土台はウエハースにすると安定するというアドバイスを実践してみたら、とても安定して作業を進めやすかったです。壁の色を変えてみたり、お菓子をアイシングでくっつけたりするのが楽しくて印象に残っています。屋根は陸屋根にしたけど、次の機会があるなら切妻屋根に挑戦して

みたいです。テーマに沿った家を作るのは難しかったけど、自分で一から考えたものが現実になるのは達成感がありました。お菓子の家づくりのおかげで建築についてもっと興味が湧きました。今回は本当にありがとうございました。

西原 知優



●地域会だより●

出前授業 in 鷺敷小学校

阿南・那賀地域会 中村 貴志

阿南那賀建築士会では、将来地域をささえる子供たちに木育と住育をテーマに毎年、地域内の小学校を対象に2校から3校で出前授業を行っています。

「木育」とは、木材の良さやその利用の意義を学ぶこと。木材や森林との関わりあい、知育、徳育、体育の3つの側面を効果的に育む取り組み、木づかい運動の一環として、「木育」の活動促進・普及を目的としています。

令和2年までは阿南市の小学校で実施していました。私の地元が那賀町であり、徳島県でもトップクラスの木頭杉の産地でもあります。そこで那賀町でも実施してほしいとお願いしたところ、令和3年度「木頭学園(小中一貫校)」令和4年度「相生小学校」そして今年度「鷺敷小学校」での授業となりました。

鷺敷小学校4年生17人が、見慣れぬ、建て方前の部材を興味深そうに見つめながら入場してきました。

初めに岡本講師より座学で「昔の人と知恵比べ」「建物ができるまで」の授業です。体験授業の建物図面と大工道具を使った説明とパワーポイントを使用した映像によるクイズ形式の授業が、子供たちにとってとても解りやすく楽しかったそうです。

そして岡山棟梁の指導で「大工さんになってみよう」の体験授業が始まりました。体育館の床に敷かれた養生シートの上に基礎を墨出したベニヤ合板を並べ、土台から順番に自分たちで運搬し組み立てます。通常は5・6年生を対象していますが、今回は4年生、全体的に小柄でヘルメットを被ると顔が半分隠れてしまう子もいました。(緊急避難時の学校備品を一部使用しました。)

建て方は子供たちに怪我などさせないように、岡本棟梁を中心に地域会の会員が万全の注意を計り指導を行いました。子供たちは大変素直に動いてくれました。

柱・梁が組み上がった時点で、子供たちに建物を揺らさせました。子供たちは面白がって揺らしていました。

が、子供たちを梁の上に乗せて、地域会全員で揺らしてみたところ大騒ぎとなりました。楽しんでいる子もいましたが本気で怖がっている子もいました。(正月早々の能登半島地震から1か月しか経っていませんし。)

そして子供たちに壁の筋交いを取り付けさせた後、梁の上に登らせ、再度揺らしてみました。

「えっ何でえ」「揺れんの」子供たちの反応です。身を持って筋交いの重要さを学んでくれました。担任の先生も感動していました。

高所の梁や棟木の取付け時には子供たちが安全に作業が出来るように地域会の会員が足場を設置し、サポート

を行いました。建て方が完了した後、子供たちが自分たちで建てた建物の上に乗って、地域会の会員と記念写真を撮影しました。

授業終了後の感想では、「筋交いを入れる前に木の上に乗って揺らしたら、すごく揺れてこわかったけど、筋交いを入れた後揺らしたら全然揺れなかった。」「家を建てるのに設計図があることを初めて知った。」など活発に話をしてくれました。記念品のティッシュペーパーの箱の組み立てキットには皆大喜びでした。

後日、子供たちから心のこもったお礼の手紙をいただきました。17人の体験者のうち「建築士になりたい。3人」「大工さんになりたい。3人」と大変うれしい結果となりました。授業を受けた子供たちの中から建築士・大工さんを目指す人材が育っていくことが期待できます。

当日の参加や事前の準備は大変なことですが、少しでも多くの子どもたちに建築の楽しさ・面白さを知ってもらい、将来の職業に建築関連の道を選択してもらうために、木育出前授業を続けていくこと、できれば回数を増やすことが大切だと思いました。

個人的には令和3年度木頭学園での出前授業の際、当時中学3年生の4男が大変興味を持ちました。今高校2年生で来年大学受験ですが、進路先に建築関係を希望しています。木育授業は木頭ではずいぶん前から実施していますが、もし木育出前授業がなかったら選択肢には上がらなかったと思います。家業に全く興味がない長男・次男・三男も、もし木育出前授業を受けていたら、もしかしたら違った進路があったのではと思いました。



鷺敷小学校4年生よりお礼の挨拶

●あなたが出番●

東北を旅して

鳴門地域会 黒崎 仁資

昨年の10月に東北地方（宮城、岩手、山形）を妻と旅をしてきました。2泊3日で3県を周ったので、非常にハードな旅でした。大阪（伊丹）空港まで車で行き、そこから飛行機で仙台空港へ降り立ちました。レンタカーを借りて、まず最初に山形県寒河江市にある慈恩寺へ向かいました。慈恩寺の本堂は入母屋茅葺で国の重要文化財に指定されていますが、あいにく屋根の葺き替え工事中で足場が掛けられており、建物全体は見ることはできませんでしたが、内部は拝観できました。隣接する薬師堂には、国の重要文化財に指定されている薬師三尊と十二神将が安置されており、京都や奈良ではありえないくらい非常に近い距離で仏像を見ることができ、感動しました。

その後月山へ向かいました。月山は海拔1,984mで羽黒山、湯殿山と共に出羽三山と言われ、修験者の山岳信仰の山として知られています。私たちは8合目（海拔1,400m付近）の弥陀ヶ原という湿原を散策しました。標高が高いのできれいに紅葉していて、日本海を望む壮大なパノラマを満喫しました。



月山8合目（弥陀ヶ原）

その日は山形に泊り、2日目は銀山温泉の雰囲気を楽しんだ後、岩手県平泉の世界遺産中尊寺へ向かいました。中尊寺へ行く前に、世界遺産ガイダンスセンターという施設へ立ち寄り、世界遺産平泉の価値と、奥州藤原氏による現世の浄土を学びました。平泉を後にして、私

たちは2日目の宿泊地、宮城県気仙沼へ向かいました。2日目の宿では星空観察会があり、宿のスタッフが車で近くの展望台まで連れて行ってくれました。そこは気仙沼市街を一望できる場所だったのですが、スタッフの人の「震災前にはもっと町に灯りがあって夜景がきれいだった」という言葉に、震災から13年経っても復興は道半ばなんだなとしみじみ実感しました。

3日目は気仙沼市の東日本大震災遺構・伝承館へ行きました。ここは津波被害にあった向洋高等学校の旧校舎をそのまま保存しています。海から150mの所に建っていた高校は、13mを超える津波に襲われ、鉄筋4階建ての校舎の4階まで津波は到達していました。3階には津波に流された車が突っ込んでおり、津波の恐ろしさを思い知らされました。当時250名ほど生徒や教師が学校にいたそうですが、屋上へ避難し犠牲者は誰一人出なかったそうです。



東日本大震災遺構・伝承館

最後に松島の国宝、瑞巖寺を見学し、今回の東北の旅を終えました。東北は広く、まだまだ行きたい魅力的な所がたくさんありますので、これから何度も足を運ぶことになりそうです。

●士会だよりー広報渉外委員会●

建築士の日

毎年「7月1日」は「建築士の日」と定められています。これは「建築士法」が昭和25年7月1日に施行されたことを記念して定められたものです。その目的は、「建築士制度を社会に広くPRし、われわれ自身も改めて建築士の意識を再確認する」というものです。

本会では、今年もSDGsと建築をテーマに講演会を計画していますので、みなさんご参加下さい。

SDGsは、持続可能な未来のために世界が目指している処方箋です。

多くの資源とエネルギーを消費することが宿命づけられている建築は、そもそも持続可能な社会においては必要悪なのでしょうか。建築に携わる者は、どうすれば「SDGsを実践しています」と胸を張ることができるのでしょうか、単なる省エネ建築でお茶を濁すのではなく。

と き 6月29日(土) (予定)

●士会だよりー本部●

「木(造)の潜在能力」(全3回)

香川県建築士会かがわ木造塾が主催する「2024年度 年間講座のご案内」です。木や木造建築の潜在能力を中心にお話をさせていただく予定です。とても興味深いお話が聞けると思います。皆様のご参加を心よりお待ちしておりますので、参加ご希望の方は、申込みフォームよりお申し込みをよろしく申し上げます。

年間テーマ『木(造)の潜在能力』

【第1回】2024年4月13日(土)

「森林林業」

講師：古川 泰司 (建築家)

アトリエフルカワー級建築士事務所

場所：樹工舎 新社屋

【第2回】2024年6月8日(土)

「工務店経営」

講師：石牧 真志 (代表取締役・棟梁)

有限会社 石牧建築

講師：西久保 美和 (建築家)

しましま設計室

場所：サンメッセ香川特別会議室

【第3回】2024年11月30日(土)

「素材」

講師：西口 賢 (林業家)

西口賢建築設計事務所

場所：サンメッセ香川 中会議室

[開催時間] 13:30 ~ 16:30

[年会費] (全3回)

一般 15,000円 学生 5,000円

[単講座] 一般 7,000円 学生 3,000円

[申込みフォーム] <https://forms.gle/8gYeJu6pzy6fB36s8>

[問合せ先]

かがわ木造塾事務局 090-9451-4534 (大森)

kgw.mokuzoujuku@gmail.com

[その他・注記]

都合により開催日程・開催場所等に変更場合があります。

※詳しくは、本会ホームページをご覧ください。

編集後記

- ・学生時代の友人が歩き遍路をするというので、11番藤井寺から12番焼山寺までの「最後まで残った空海の道」を一緒に歩きました。落ち葉などがきれいに掃除されており、ボランティアのみなさんのご苦勞が偲ばれました。(ノーリツ号)
- ・私もこないだ焼山寺のブランコ乗ったよ！ (ちびっ子編集員)
- ・今日は、ちびっ子編集員と同伴 (ひとはたうさぎ)

建築士会本部行事

令和6年4月		令和6年5月	
10日(水) 建築相談 (士会会議室)		8日(水) 建築相談 (士会会議室)	
24日(水) 建築相談 (士会会議室)		11日(土) 徳島支部総会 (建設センター)	
		22日(水) 建築相談 (士会会議室)	

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 建築相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。